

2 「単元（題材）の計画」を立てよう



単元（題材）の計画の作成には、構想と作成の二つの段階があります。実際には、必ずしも構想から作成へに移るわけではなく、二つの作業を行きつ戻りつすることを繰り返してより良い単元計画を作成していくことが大切です。活動に関わる教員同士で意見を出し合いながら、より良い単元計画を立てましょう。

ここでは、「総合的な探究の時間」の単元計画作成の例を示します。

* 「単元（題材）の計画」の様式等は、教科・科目により異なります。神奈川県各教科・科目の様式や記載方法等については「学習評価の手引き」（令和4年3月 神奈川県教育委員会）を参照してください。

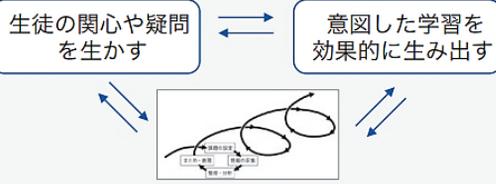
〈例〉「総合的な探究の時間」の単元計画作成手順

① 全体計画・年間指導計画を踏まえる

② 三つの視点から、中心となる活動を思い描く



③ 探究活動として単元が展開するイメージを思い描く



④ 単元構想の実現が可能かどうか検討する

（授業時数、学習環境、学習形態・指導体制、各教科・科目等との関連等、多様な視点から）

⑤ 単元計画としての学習指導案を書き表す

⑥ 単元の実践

① 単元計画を作成するに当たっては、その前提として、学校の全体計画・年間指導計画を踏まえる必要があります。

② どの視点から構想を始めても構いませんが、他の二つの視点についても、十分に考えを巡らせることが大切です。

1 教員の意図
探究課題を通してどのようなことを学ばせたいのか、育成を目指す具体的な資質・能力の明確な単元構想が可能となります。

2 生徒の関心や疑問
個々の生徒の学習経験、将来の進路目標、社会的な事情に対する問題関心などを出発点とすることで生徒の主体的な活動が保障できます。

3 教材の特性
教材の特性を出発点とすることで、どのような課題の解決や探究活動を行うことができるのか、明確に見通すことができます。さらに、実社会や実生活と関わる教材であることで、生徒の興味・関心を引き出し、探究に対する意欲を高めることもできます。

③ 指導計画の評価と改善

単元を構想する

単元計画を具体的に書き表す

③ ②で考えた活動を生徒主体の価値ある探究にするために、次の二つのポイントに注意しましょう。

- 1 生徒の意識や活動の方向を的確に予測すること
- 2 十分な教材研究を行うこと

④ 各活動の授業時数、学習環境、学習形態、指導体制、各教科・科目等との関連等の多様な視点から、単元構想が実際に実現可能かを吟味します。特に、高等学校では職業選択や進路実現に直接結び付けて自己の在り方生き方について考えることが求められるため、各学校の実態に応じて、連携・協力を求める大学や専門学校等の教育機関、行政機関や企業、NPOなどの外部の教育資源の活用を想定しておくことも重要です。

⑤ 右ページを参照してください。

⑥ 生徒の学習状況に応じて計画を柔軟に修正しつつ、学びを生み出そうとする、教員の構えが重要です。

⑦ 単元の実践を振り返り、単元計画を見直すとともに、次年度の全体計画や年間指導計画の改善に役立ちます。

『今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開（高等学校編）』令和5年3月文部科学省より（一部改編）（右ページも同じ）

⑤ 単元計画としての学習指導案（例）

* 神奈川県の「単元指導計画」の様式や記載方法等については「学習評価の手引き」（令和4年3月神奈川県教育委員会）を参照してください。

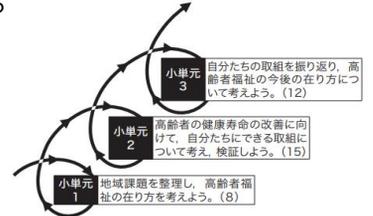
1 単元名 町民の健康寿命を延ばすために～地域住民と共に取り組めること～

総合的な探究の時間の単元名は、生徒の学習の姿が具体的にイメージできる単元名にすること、学習の高まりや目的が示唆できるようにすること、に配慮します。

2 単元目標

町民の健康や福祉を向上するための活動を通して、わが町の福祉は様々な人や組織が関わって成り立っていることや、持続可能な取組を創造していくことの意義や価値について理解するとともに、健康寿命を延ばすための方策を科学的根拠に基づいて考察し、自他を尊重する精神をもちながら様々な世代が健康に暮らす社会を共に実現しようと行動できるようにする。

どのような学習活動を通して、生徒にどのような資質・能力を育成することを旨とするかを明確に示します。各学校が定める目標や内容を視野に入れ、中核となる学習活動を基に構成します。例のように、一文で示す場合、箇条書きにする場合などが考えられます。



3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①町民の健康や福祉の向上のために様々な人や組織が関わっていること、高齢者も活躍できる社会の実現に向けては持続可能な取組を共に創造していくことが大切であることを理解している。 ②考案した取組の効果に関する実地調査を、相手や研究内容に応じた適切さで正確に実施している。 ③町民の健康や福祉に対する認識の高まりは、健康寿命の改善に向けた創造的な取組について探究してきたことの成果であることに気付いている。	①町民が抱える健康上の問題点について、自己の関心を基に研究内容を設定し、検証方法を考え研究計画書を作成している。 ②町民の健康の現状を捉えるために、自己の研究内容に応じて、手段を選択し情報を収集したり蓄積したりしている。 ③統計や先行研究、町民を対象とした調査結果を基に、自分たちにできる高齢者の健康寿命促進の取組を検討し、実施効果に着目して、取組内容を決めている。 ④町民の健康や福祉の今後の在り方について、自己の取組を振り返り、学習や生活に生かしている。	①町民の健康の実態に関して、他者の研究内容との関係で自らが設定した研究内容の特徴を捉え、向き合おうとしている。 ②行政や医療職、介護施設職員等と協働して町民の健康寿命の向上に取り組もうとしている。 ③町民の健康や福祉の維持発展に向け、持続可能な自己の取組を明らかにして将来社会の実現に貢献しようとしている。

①概念的な知識の獲得
 ②自在に活用できる技能の獲得
 ③探究の意義や価値の理解
 に関して記述します。

①課題の設定 ②情報の収集
 ③整理・分析 ④まとめ・表現
 の各過程で育成される資質・能力に関して記述します。

①自己理解・他者理解
 ②主体性・協働性
 ③将来展望・社会参画
 などについて育成される資質・能力に関して記述します。

4 単元の展開（35時間）

小単元名（時数）	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
(1) 地域課題を整理し、高齢者福祉の在り方について考えよう。(8)	・地域の健康や福祉に関する問題点について自らの認識を出し合い、過疎化、高齢化と深く関連していることを確認する。 ・高齢者の健康や福祉に焦点を絞って研究内容を設定し、課題の解決に向けた今後の活動への見通しや検証方法を考える。		①		・発言 ・研究計画書 ・研究日報
	・自己の研究内容に照らして必要な情報を収集し、分析した結果を研究内容報告会で交流し合う。 ・研究内容報告会から、町民の健康寿命の現状に関する課題意識を高め、研究計画書を更新する。		②	①	・研究内容報告会における発表や発言 ・研究計画書
(2) 高齢者の健康寿命の改善に向けて、自分達にできる取組を考え、検証しよう。(15)	・先行研究やアンケート調査等を踏まえて、町民の健康寿命に関する現状の分析を行い、実施可能な方策について検討する。		③		・健康寿命改善計画書 ・データ分析 ・資料 ・研究日報
	・行政や医療職等と連携・協働した高齢者向け健康教室を実施するとともに、自分たちが考案した取組の検証や改善を行う。	②		②	・行動観察や発言 ・データ分析 ・資料 ・研究日報
(3) 自分たちの取組を振り返り、高齢者福祉の今後の在り方について考えよう。(12)	・研究内容への取組をまとめ、得られた成果や効果についての研究発表会を企画・実施する。	③	④		・研究発表会における発表や質疑応答
	・自己の研究内容に関する結論や考察について研究集録にまとめる。	①		③	・研究集録

目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力、生徒の興味・関心を基に中核となる学習活動を設定します。活動内容や時間数、学習環境をより具体的に記述するとともに、それぞれの活動における指導のポイントや関連する教科・科目等の学習内容、評価規準等について記載することがあります。